

第7次総合計画策定に向けた検討フロー

現状とこれからのまちづくりの考察

第7次総合計画

◇ 現状・課題など【第1回審議会で説明・議論】

人口減少の進行・影響

資料No.2 (前回の補足説明)

- 人口減少とともに少子化・高齢化が進行、今後加速
- 世帯構成が変化(単身化・核家族化の進展)
- 担い手不足や地域コミュニティ活動の減少 など

社会の潮流

- 人口減少・少子高齢化社会の本格的な到来
- ライフスタイルや価値観の多様化
- 安心・安全に対する意識の高まり
- 地球規模での環境問題の深刻化
- 人生100年時代を見据えた誰もが活躍できる社会
- 経済情勢や産業構造の変化
- 情報通信技術の進展
- 持続可能なまちづくり

第6次総合計画の評価・検証

まちの主要指標の動向

- 人口・世帯、経済、財政の各種指標の最新動向を把握

基本政策・重点戦略の検証

- 行政内部において、政策分野別・重点戦略ごとに、取組の成果や課題を整理

市民の声アンケート

- 市民生活の実態や実感等を把握
- 市民 5,000人 回収数 2,271人

第7次総合計画の策定に向けて

策定の趣旨

- 持続可能なまちづくりを総合的かつ計画的に推進

策定の視点

- 人口減少社会への対応
- 上越ならではの豊かな暮らしの確立
- まちの力・地域の力の向上
- 未来志向のまちづくりの推進

◇ 市民の意見・思い

総合計画審議会(第1回)

- 各分野の有識者や市民活動団体の代表者など30人で構成
- 全参加委員から意見を聴取

グループインタビュー

参考資料1

- 上越市内でまちづくり活動等を実施している20団体へインタビューを実施
- インタビュー人数:延べ85人

まちづくり市民意見交換会

参考資料2

- 市内4会場で5日間実施
- 参加者数:延べ72人

まちづくりに関する意見募集(Web)

- 市ホームページ上で広く意見を募集
- 寄せられた意見:延べ65件

抽出・整理

魅力や強み・不安や弱み

参考資料3

ありたい姿

- 行政の立場から、ありたい姿を検討

◇ まちづくりの方向性

まちづくりに込める思い

資料No.3

参考資料4

- 長期的な展望に立ち、目標となる2040年の上越市のありたい姿を描きます。

将来都市像

資料No.4

- ありたい姿の実現に向けた視点を踏まえ、2030年に上越市が目指す将来都市像を示します。

※第3回以降に審議予定

基本政策など

基本計画